



## 宿題は残っている

専務理事 藤井敏政

わが非鐵金屬鑛業界は終戦以來初めて明朗な新年を迎えた。本年も恐らく好況は続くだろう。これが永い間悪條件の下自主態勢への企業努力の結實であるのならば、眞に結構であるが其の大半は實に國際價格の昂騰に因るものである。國際價格昂騰の最大原因は昨年夏頃以來の世界的に一大軍擴の再現と朝鮮事變勃發に伴う米國を中心とする軍需の急増にある。現在の情勢では世界軍擴競争は愈々激化の傾向であり國內的には朝鮮事變の特需も相當の持続性があると思う。

昨年春頃迄滞貨で苦んだ銅鉛のごときもその生産の増加に拘らず既に内需に對して相當の供給不足を來し、非鐵金屬類は一様に輸入によつて需給調整を計らねばならぬことになつた。

その場合國內産の價格は自由經濟の下では當然輸入採算即CIF建價格に一致する事にならう。然しながら現状においては非鐵金屬類は世界的不足物資であつて、その國際格價も異常の昂騰を示しており、既に主要生産國はそれぞれ自國軍需に對處する爲、あるいは民需抑制あるいは輸出制限の擧に出ている。この傾向は現下の國際情勢より見て益々深刻化するだろう。そこで非鐵金屬の輸入は實際問題として地金は素より鑛石にしても將來漸次困難となるだろう。かりに輸入に恒久性があるとしても餘程高價のものとならう。これが需要の面はともかくとして採算的に巧く行くならば益々國內増産を刺戟し非鐵金屬鑛業は正に萬々歳である。

## 日本鑛業協會誌 (第四卷第一號)

### 新年號目次

- (卷頭言) 宿題は残っている……………藤井敏政……………三
- (論説) 金屬鑛業界の回顧と展望……………五
- ▽年頭所感(各社十六氏)……………七
- ▽今昔話……………是永桃吉……………三
- ▽米國銅關稅問題概觀……………古河鑛業調査課……………四
- ▽〔協會賞研究發表〕
- 青化澱物品位上昇對策並鑛泥の濃縮  
促進法に關する研究……………山下則保……………三
- ▽戦争と統制……………志保井利夫……………三
- ▽電氣需給調整規則の改正について……………三
- ▽協會だより……………四
- ▽ニュース……………三
- ▽資料……………四六

### 〔表紙寫眞〕

野村鑛業イトムカ鑛山元山レトルト製鍊所